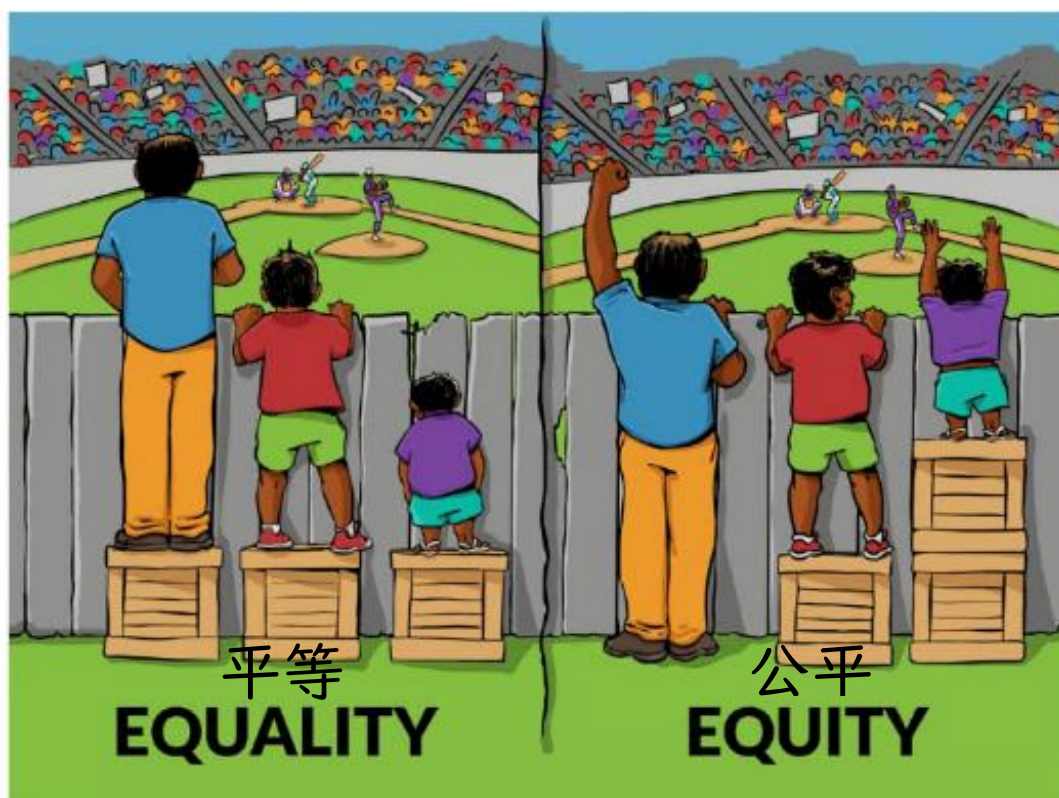


人権コラム(第34回) 最近聞くようになってきた言葉から考えよう

人権コラム第34回目を担当する人権・地域教育課です。

『DEI』という言葉をご存じですか。Diversity(多様性) Equity(公平性) Inclusion(包括性)の頭文字をとった言葉で、多様性を尊重し、すべての人を包摂的な環境で受け入れることを意味する言葉です。例えば、職場で『DEI』が大切にされていればとても働きやすいし、大切にしていかなければならない考え方だと思います。言葉としては新聞などで見かけることが増えてきているように感じていますが、あまりなじみのない方もおられると思いますので、このコラムが知る機会になればと思います。

『DEI』から今回は equity(公平性)についてもう少し考えてみます。イチゴが大好きな子どもたちが4人います。今、イチゴが8個あります。1人2個ずつ食べるのが分かりやすいですね。さて、イチゴが9個あったらどうしますか。突然難しくなりますね。実は8個のイチゴを4人が2個ずつ食べる考え方は equality(平等性)という考え方になります。『公平』と『平等』どちらも同じような意味に思える言葉ですが、実は違います。下のイラストを見てください。



人権教育の場では合理的配慮についての説明でよく使われるイラストです。イラストを見てもらうと一目瞭然なのですが、説明をします。野球を観戦しているのですが、安全のためのフェンス

が有り、何もない左端の青い服を着た人しか野球を観戦することができません。そこで、台が3個ありました。1人1個ずつ使うのが平等、3人とも見ることができるように分け合うのが公平という考え方になります。ちなみに安全を守るフェンスを金網などに代えて、台が無くても観戦できるようにする考え方が『バリアフリー』です。実は『公平』と『平等』については中学校の道徳の教科書でも扱われています。知っておくと中学生の子どもさんとお話するときに役立つかもしれませんね。

さて、イチゴの話に戻ります。イチゴが大好きな子どもたちが4人います。イチゴが9個ありました。どうしますか。平等を追求するなら、すべてのイチゴを4分の1にカットする方法があります。 $9 \times 4 = 36$ になるので4人で割り切れます。イチゴが小さくなるのでケーキに乗せたりパフェを作ったり…。ジャムを作る方法もありますね。ジャムになればみんなが同じ量を食べることができます。でも、『公平』という考え方をすると『相談』になります。イチゴが大好きな子どもたち4人のその日の体調やお腹のすき具合はみんなバラバラです。平等は分かりやすいので納得もしやすいです。でも、イチゴが8個で分けやすい時も「1人2個ずつでいいかな。」そんな相談の一言が有ると無いのでは、大きくちがいますね。話をして相手のことを理解することはdiversity（多様性）や inclusion（包括性）を大切にすることにもつながります。

4月は人事異動も有り、新しい職場に着任される方もいます。まずはお隣の方に声をかけてみませんか。不慣れな作業に従事して困っている方、業務の比重に偏りがあり困っている方、様々な事情で勤務時間に制限があり困っている方、様々な方がおられます。「仕事は仕事、給料分は働かないと…」だと思いますが『DEI』をみんなが少しずつ意識することで、早く作業に慣れ、業務量に大きな負担感がなく、勤務時間に関わらず自分の力を発揮できる、そんな働きやすい職場に変えていきませんか。